

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

一関市「学校支援地域本部事業」の成果と課題(岩手県一関市)

取組事業

学校支援地域本部事業

活動実施場所

一関小学校 南小学校 大東小学校
猿沢小学校 室根東小学校
室根西小学校 大東中学校 室根中学校

取組概要

【学校支援地域本部事業】

市内33小学校と17中学校のうち、8小中学校にコーディネーターを配置し取り組んでいる。

登下校時の見守りや授業補助、読み聞かせ、図書室の環境整備、放課後のクラブ活動などについて地域のボランティアによる支援を実施している。

◎情報の共有

学校支援地域本部事業の実施校の校長、PTA会長、コーディネーターが顔を合わせ、各校での実施状況や課題等について協議する機会を年2回設けている。

◎実施校の増加に向けた取り組み

全小中学校に取り組事例をまとめた資料を送付し、次年度以降の事業実施に向けた意向調査を行う。



水生生物観察会補助



図書室環境整備

事業成果

【学校支援地域本部事業】

図画工作や家庭などの実技科目において、ボランティアのサポートがあることで、機械の故障（ミシンの糸絡み等）などが発生しても、ボランティアの対応により、早期にトラブルが解消されるなど授業の進行が途切れることなくスムーズに実施できているという学校からの評価がある。

ボランティアによる学校の環境整備やサポートを受けていることを子どもたちも感じており、感謝の心が芽生えているとの学校からの評価がある。

戦争体験の講話など、教科書の中だけでは得ることができない様々な分野に触れる機会を提供できている。

課題や今後の取組

（課題）

実施していない小中学校が多い。

実施している学校でも教職員の理解度に差がある。人事異動に伴う教職員の入れ替えなどもあり、毎年度、学校内での周知が必要となっている。

（今後の取り組み）

校長と副校長だけではなく、各教諭への事業周知が必要なことから、事業周知のためのチラシを作成し、配布することとしたい。